

案件概要書

2011 年 10 月 18 日

国際協力機構南アジア部南アジア第二課

1. 案件名（国名）

国名： アフガニスタン・イスラム共和国

案件名： カブール市内道路改修計画（The Project for Rehabilitation of Main Roads and Community Roads in Kabul City）

2. 事業の背景と必要性

（1）当該国におけるカブール首都圏開発の開発実績（現状）と課題

カブール市は急激な人口増加とそれに伴う都市環境の悪化（交通渋滞、大気汚染、水不足）という課題に直面している。同課題を克服するために首都圏開発マスタープラン作成支援を日本政府が実施し、その後アフガニスタン政府により閣議決定されたマスタープラン（以下、「MP」）に基づき、現在カブール首都圏開発事業が実施されており、既存カブール市の再生と新都市の開発が進んでいる。MP では現在のカブール市の一極集中の是正、カブール首都圏全体の開発の促進等の観点から、放射道路の拡幅、環状道路及び周縁道路整備等からなるカブール首都圏の道路整備計画が作成されており、この早期実現が求められている。

（2）当該国におけるカブール首都圏開発の開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

カブール首都圏開発は、2009 年アフガニスタン政府にて閣議決定された国家事業であり、本事業は同開発を推進する事業として位置づけられる。また、MP に引き続き実施しているカブール首都圏開発計画推進プロジェクトにおいて、上記 MP に基づくカブール市内の道路整備計画や交通改善計画を含む既存カブール市都市開発マスタープランの策定支援を行っており、同マスタープランでもカブール市の基幹道路ならびにコミュニティ道路の改善の必要性がうたわれている。

（3）カブール首都圏開発に対する我が国の援助方針

我が国は対アフガニスタン支援の重点分野の一つとして「インフラ整備」を設定し、同分野において都市開発への支援をにかけている。また、JICA は新都市開発と既存カブール市の再開発を一体的に行って都市問題の解消と安定した首都の構築につなげ、雇用創出を含む経済成長を促して民生の安定と平和の定着に貢献することを目的とした「カブール首都圏開発協力プログラム」を 2010 年より実施している。「カブール首都圏開発計画推進プロジェクト（技プロ）」は右プログラムの中核プロジェクトであるが、その主要成果の一つとして、アフガニスタン関係機関のインフラ整備能力の向上を位置づけ、カブール市や新都市開発委員会事務局の設計・調達・実施能力の向上を図っている。特に、カブール市では道路整備能力の向上を図るためにパイロットプロジェクト等を通じた協力を行っており、本案件はこの技術協力プロジェクトの成果を踏まえたものと位置づけられる。

（4）他の援助機関の対応

道路分野では他ドナー（ADB 等）は地方における幹線道路の整備に重点をおいている。また、世銀等がカブール道路改善プロジェクト（KURIP Kabul Road Improvement Program）を計画し設計を行うとともに一部施工を行っているが、設計区間の多くは十分な資金確保ができず未実施の状況にある。本案件は世銀が設計したものの未実施である区間を中心に道路改善を行うものである。このように他ドナーと連携を図り行うものであり重複はない。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、カブール首都圏開発プログラムに位置付けられており、都市問題の解決及び安定した首都の構築に資するものである。道路改修による渋滞緩和等によりカブール市内の道路輸送能力が強化され、カブール市の社会経済の活性化に貢献する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

カブール市内基幹道路

(3) 事業概要

カブール市内の基幹道路等の改修整備（11.4km～24.6km（調査にて確認する））

(4) 事業実施体制

事業実施機関：カブール市役所

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：拡幅を伴わない既存道路の改修である本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：

基幹道路等の整備によってカブール市の交通ネットワークが改善され、物流・経済の活性化、ひいては雇用機会の拡大につながる。

(6) 他スキーム、他ドナー等との連携：特になし。

(7) その他特記事項：安全対策体制の構築に留意する。

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

マラウイ国「ブランタイヤ市道路網整備計画（2007年度）」では、先方政府負担事項である地下埋設物の移設等が遅れたことにより、事業実施スケジュールが遅延している。

(2) 本事業への教訓

本プロジェクトでは、的確な工事監理体制の構築を図るとともに、別途実施中の技術協力プロジェクトによるカブール市役所のインフラ事業実施能力の向上支援を通じ先方実施体制の強化を図る。また、現地業者を施工業者として活用する平和構築支援無償等では、一定程度の品質を確保するために、適切な施工監理体制（安全対策及び紛争予防の配慮等）を構築しており、本事業においても十分に検討することが望まれる。

以上

〔別添資料〕 地図

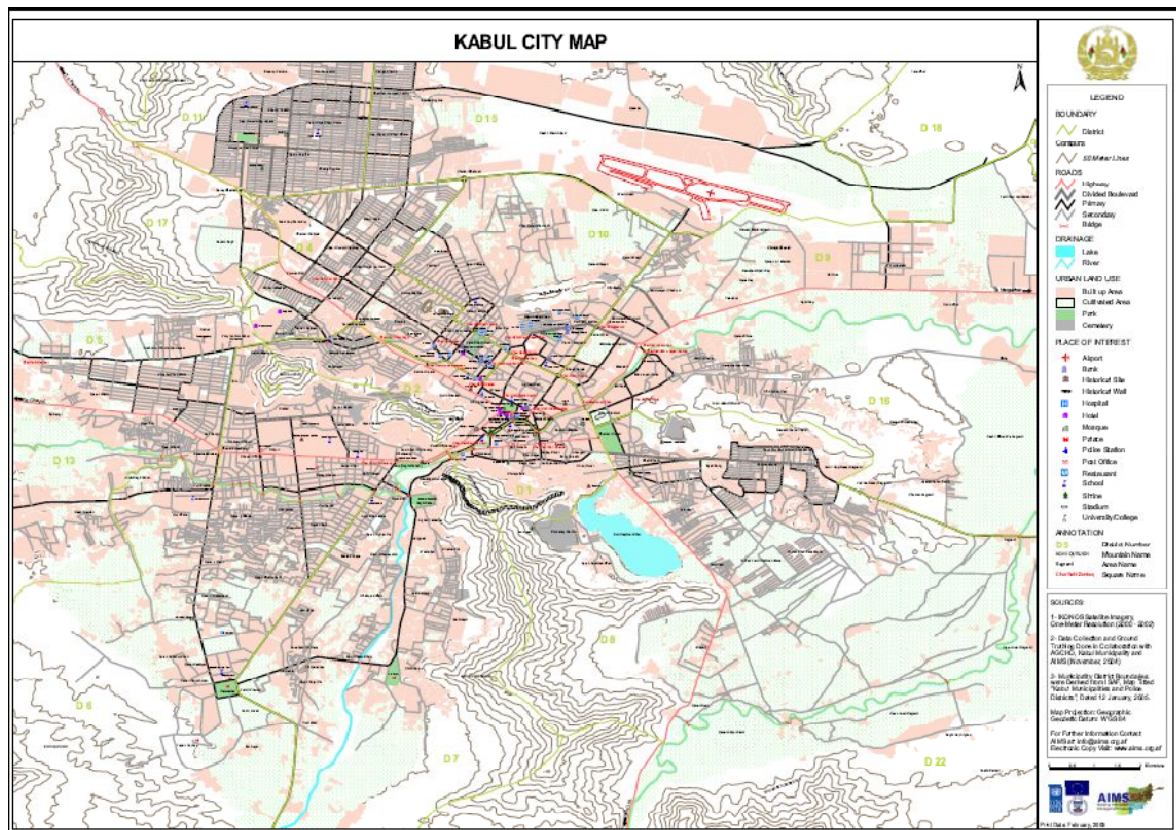


図1 カブール市内地図

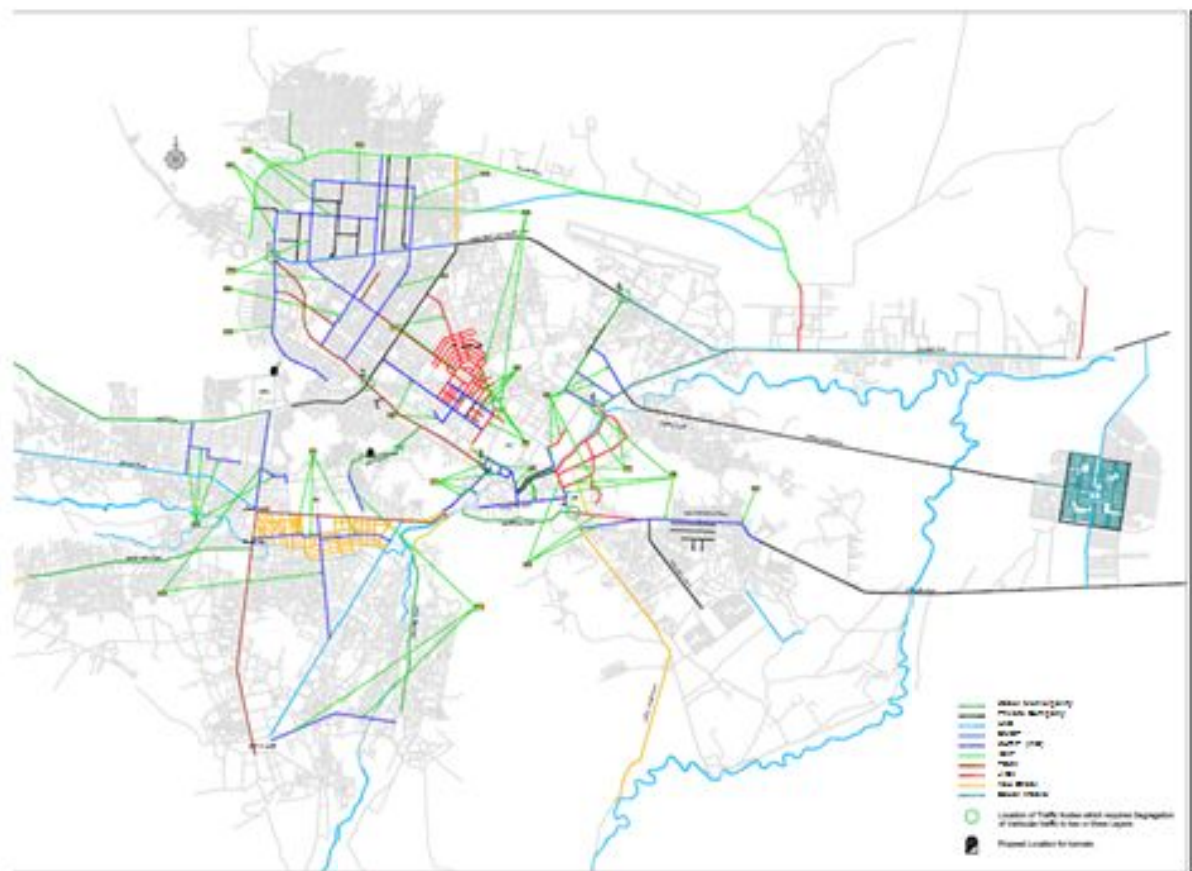


図2 KURIP事業進捗図